

人と音を結び
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL (052) 678-5310 FAX (052) 678-5330
<http://clanago.com>

プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310



ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテッジビル301
TEL : 052-508-5095 FAX : 052-508-5097
E-mail : mane-pro@mane-pro.com
HP : <http://www.mane-pro.com>




出雲草(松本あり)

出雲草(松本あり)「語り舞」

11月23日ミニコンサート Aoi

地唄舞出雲流の舞踊家
で放送アナウンサーの出
雲草(松本あり)が11月
23日(午後2時15分)千
種のミニコンサートA
oiで「語り舞」おんな

心二題を開く。「語り舞」
とは、地唄舞を舞いなが
ら、源氏物語の一説を下
ラマチックに暗唱する松
本独自のパフォーマンス。
光源氏に翻弄(ほんろ
う)された女たちを主人
公にした「語り舞」源氏
女人抄(台本・岡本一彦)
を立ち上げ、上演に漕ぎ
着けたのは四半世紀近く
前。今回が14回目の公演
で上演するのは「明石
の君」(演出、振付・出雲
蓉)。数々の乱行が露呈し

「語り舞」源氏女人抄」
は、これまで5作(朧
月夜、明石の君、末摘花、
葵上、夕顔)が制作され、
繰り返して上演されてい
るが、「明石の君」は「起承
転結が明確で、舞にも色
香が漂う。演じていて、最
も手応えのある作品」(松
本)だという。

公演ではほかに地唄舞
「舞扇(作曲・野村正峰、
振付・出雲蓉)」「語り舞」
を分かりやすく解説した
ナレーション「源氏物語

和太鼓奏者・山田純平×東別院

450畳本堂で僧侶の声明と共演



450畳の東別院本堂と巨大な太鼓を打つ山田純平

11月18、19日 真宗大谷派名古屋別院で

2021年、愛知県芸
術劇場大ホールでメガト
ン級の和太鼓公演を開
催。22年には芸術創造セ
ンターで、国際的アコー
デオ奏者cobaと
共演し、和太鼓奏者とし
ての技量と卓越した音楽
センスを発揮した山田純
平。今年は11月18、19日

(両日とも午後5時30分)
450畳の東別院本堂を
舞台に、和太鼓と僧侶の
声明を融合させた荘厳な
ステージを実現させる。

名古屋別院は、織田信
長の父・信秀が築いた古
渡城跡地に1690年に
建立された信州大谷派
の寺院。各種講座や朝
市、子供広場など、一部
施設を市民に開放してい
るが、本堂をまるまるス
テージとして使用するの
は300年余の歴史上新
だという。公演のため
は450畳の床に所作台

を敷き、舞台を組み、照
明や音響装置を仮設する
必要がある。その準備の
ためだけに2日間。終演
後の撤去にも準備と同様
の手間暇がかかる。

そこまでして山田が公
演を行うのは「厳肅な本
堂でしか体感できない、
和太鼓や邦楽楽器の響き
を体感し、共有したかつ
た」から。さらに今回は
8人の僧侶の声明(しょ
うみょう)と、和太鼓の
共演を試みる。山田はそ
のため新曲「聲明讃鼓
(きょうめいさんこ)」を

作曲。不穏、不安な今日
を生きる人々の心をいや
す人間讃歌を歌い上げ
る。

出演は山田(和太鼓、
笛)と彼が主宰する熱響
打楽(和太鼓、三味線、
ピアノ)、客演の坂田梁
山(尺八)、坂田美子(琵琶)、
藤倉昌英(鼓、太鼓)、
藤倉昌近(同)ほか。

全指定席6500円
(当日7000円)、高校
生以下5000円。問い
合わせはスタジオ燦(S
un)TEL0563-377
65968。

歌と笑いで元気届ける 「ワハハ本舗」出身の オールラウンドシンガー

シャンソンの扉



「エルム」に初登場した伊地知玲奈

へのいざない」が付く。
全自由席3500円(当
日4000円)。学生、生

伊地知玲奈(いじち・れ
な)の熱唱を聴いた。帝国
劇場でミュージカルを見
ているような錯覚に陥っ
た。

静岡県袋井市の出身。
愛知県立芸術大学(声楽
専攻)を卒業し、夢だった
ミュージカル俳優を目指
して上京。東宝のミュー
ジカル・アカデミーにた
どり着いたが、ライバル
は星の数ほど。そこで伊
地知が選択したのは、お
笑い劇団「ワハハ本舗」
(以下・本舗)だった。

「大学ではクラシック
一辺倒でしたが演歌も大
好き。歌だけでなく、お芝
居やコント、人を笑わせ

元気になってもらえれば
幸せでした」と伊地知。な
るほど本舗には理想の人
がいた。久本雅美だ。

本舗では久本の付き人
を一年半ほど務めた。「久
本さんは常に人を笑わせ
ようと考え、そのための
努力を怠らない人です」

今年3月には本舗のタ
マ伸也のプロデュースで
初のシングルCD「しあ
わせのフルー」をリリー
ス。7月には「レ・ミゼ
ラブル」の演劇版「惨め
なる人々」(六本木俳優座
劇場・全10公演)に、テナ

ン、興津博規(ベース)
ほか。全自由席5000
円。TEL090(63363)
5864。

名古屋混声合唱団第24
回演奏会 11月5日(午
後2時)しらかわホール。
曲目は「ウイスキーが、
お好きでしょ」「風紋」ほ
か。指揮・大橋多美子、ピ
アノ・中村節、パーカッ
ション・山田信晴。全自由
席2000円。TEL0880
720430。

レオタードのご購入 送料 無料
1枚からでも大丈夫

DanSkate
Wear Me Girlish

丹生工場のDanSkate
住所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3丁目12番3号(栄三ビル5F) (栄三ビル向かいの上です)
電話番号 052-265-7900
パソコン・スマホからご注文は <https://danskate.com>

徒は無料招待(事前の
申し込みが必要)する。
問い合わせはTEL090
(12682)90972。

「エルム」に初登場した伊地知玲奈

伊地知玲奈(いじち・れな)の熱唱を聴いた。帝国劇場でミュージカルを見ているような錯覚に陥った。

今年3月には本舗のタマ伸也のプロデュースで初のシングルCD「しあわせのフルー」をリリース。7月には「レ・ミゼラブル」の演劇版「惨めなる人々」(六本木俳優座劇場・全10公演)に、テナ

ン、興津博規(ベース)ほか。全自由席5000円。TEL090(63363)5864。

「がんを生きる緩和ケア医」大橋洋平先生
「祈り・願い・叫び」を表現する歌手、芹沢祥子

大橋洋平 トーク&ライブ × 芹沢祥子

10/12thu open 13:30 start 14:00
charge 4,000yen

理想のシャンソン空間 Cafe Concert **エルム** TEL 052-733-0085
名古屋市千種区吹上2-4-5 エルム シャンソン 検索



た。いつか共演できればと願いましたが、3年間の在団中には叶いませんでした。まだまだ力不足でした」

初出演のエルムでは芸大の同級生だったHarukaと共演。テンポの良いトークを交えシャンソン、ミュージカル、クラシックの名曲を披露し聴衆に元気を届けた。目標である「唯一無二の存在」に向け、確かな一歩を印した。

(文、写真・上野茂)

「エルム」に初登場した伊地知玲奈

全国合同バレエの夕べ

日本バレエ協会(岡本佳津子会長)が8月11日と13日、東京の国立劇場で「全国合同バレエの夕べ」を開催した。初日は関東支部の「アル」で開幕。ビゼー作曲「アルの女」の旋律に乗せ、南仏の若者たちの日常を、何組かのアンサンブルで描いた。続いて中部支部の「マダム・

舞台批評

壮大なゲームの世界観を生オケで



バレエ「ドラクエ」のワンシーン

テーマに数々のオリジナル作品を創作、上演するプロのバレエ団。越智インターナショナルバレエ出身の久野直哉、松岡伶子バレエ団出身の若宮嘉紀らが在団している。

バレエ「ドラクエ」

ゴージャスな舞台美術と斬新なコスチューム、そして選りすぐられたダンサーたちが展開するファンタジー。日本が世界に誇るグラインドバレエの登場だ。スターダンサーズ・バレエ団(以下SDB)が、バレエ「ドラゴンクエスト」(9月2日・芸術劇場大ホール)を愛知初上演した。

中部支部は川口節子振り付け作品披露



中部支部「マダム・バタフライ」

中部支部「マダム・バタフライ」が上演された。振付、演出は川口節子。蝶々夫人は川瀬利奈。20人を超えるダンサーが波になり潮となつて運命を象徴。蝶々が自刃する悲しい結末に至った。ほかに印象的だったのは甲信越支部作品として「Romance」が上演した「峠道にて」8つの小品(振付・

子。蝶々夫人は川瀬利奈。20人を超えるダンサーが波になり潮となつて運命を象徴。蝶々が自刃する悲しい結末に至った。

金森様。東京地区の「ライモンダ」では新鋭の蛭川騰子とベテラン清水健太が好演した。2日目の演目は関東支部「インパルス」(振付・安達哲治)、北陸支部「シルフィード」、山陰支部「ジゼル」ほか。北海道支部の「空白のある物語」(振付・佐藤利英子)が異彩を放った。(茂)

鍵盤打楽器で卓越した歌心を発揮



打楽器・安江佐和子

胸躍る「サミット」。プロバレエ団ならではの公演。地域のバレエ団には真似の出来ないSDBのステーションである。

パーカッション(打楽器)のコンサートには必ずと言っていいほど、驚きと発見がある。愛知室内オーケストラ首席客演打楽器奏者・安江佐和子

締め「ツリーネーション」演奏中のこと。客席からメロディーが聞こえた。誰もが携帯の呼び出し音だと思ひ非難の目を向けた。ところがこれは安江の演出で、会場には数人の「共演者」が潜み、

語(振付・大森弥子)、九州南支部の「Construc」(振付・藤原さくら)が異彩を放った。

オルゴールを鳴らしている。発見は安江のマリンバ、ウィブラホンの繊細な演奏だ。打楽器奏者はリズムを司るのが仕事だが、鍵盤打楽器奏者でもある。安江はピアノの「リベルタンゴ」も「プリビオン」そして「ビュッシー」の「月の光」で卓越した歌心を発揮し、リスナーを酔わせた。打楽器奏者への認識が一変したコンサートだった。(S)

音楽回想ひとり語り

《20》「アルハンブラの思い出」



アルハンブラ宮殿

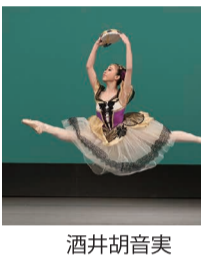
哀愁を帯びたギターのとれモロ

スペイン音楽と聞いて、の思い出ではないか。冒頭から、トレモロ奏法による哀愁を帯びた美しいメロディーが人気のアルハンブラは、スペイン南部のグラナダにある宮殿のことで「アルハンブラ宮殿の思い出」とも言う。当地を長く支配したイスラムの王宮で、アラブ風の建物や庭園が人気の観光地だ。余談だが、スペインでは「H」を発音しないので「アランプラ」と言う。これと甲付けがたい有名曲が「アランプラ」協奏曲。ホアキン・ロドリゴが1939年に作曲。第2楽章の物悲しい理由だ。1896年にフランシスコ・タレガが作曲した。アルハンブラは、スペイン中部の町の名で、こも美しい宮殿がある。忘れてならないのが、名作映画「禁じられた遊び」(52年)のテーマ曲愛のロマンス。ナルシン・イエペスのギターで大ヒットした。ほかに、エンリケ・グラナドス「スペイン舞曲集」の「オリエンタル」「アンダルーサ」、イサーク・アルベニス「スペイン組曲」の「グラナダなど」。ピアノ曲だが、ギターでも演奏される。これにマニエル・デ・ファリャを加えた3人がスペインの代表的作曲家だ。(文と写真・植田三郎)

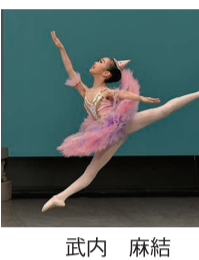
渡部 もえ



酒井胡音実



横内 葵依



武内 麻結



平田 瑞葉



永井 咲良



大蔵 悠香



森川 更紗



窪田れいら



狭野あゆ子



久野 紅花



淵上 煌月



水速 飛鳥



小嶋 萌生



羽ばたけ！次代のバレリーナ

第27回バレエコンペティション(8月4〜6日芸術創造センター)1〜3位

▼17歳以上①渡部もえ(松岡伶子バレエ団)

▼15〜16歳①酒井胡音実(森高子バレエ教室)

②山下莉音(兼子真由美R・B) ③岩本紗季(松岡伶子バレエ団)

▼13〜14歳①平田瑞葉(兼子真由美R・B)

▼11〜12歳①大蔵悠香

(テアトル・ド・バレエアカデミー) ②三谷凌平(須山仁美クラシックバレエ) ③石黒萌桃(テアトル・ド・バレエアカデミー)

▼9〜10歳①窪田れいら(KUBOTA BALLET車田スタジオ) ②片山大岳(白鳥バレエ学園) ③新田紗菜(森高子バレエ教室)

▼7〜12歳(バレエシューズ)①久野紅花(エ

リカバレエスタジオ) ②牧野なつな(松本千明バレエスタジオ) ③山口愛莉(テアトル・ド・バレエアカデミー)

▼プロ・シニア①栗野留華(テアトル・ド・バレエアカデミー) ②水野七菜子(松岡伶子バレエ団)

③高橋大聖(テアトル・ド・バレエアカデミー) ④プロ・ジュニア②伊藤沙奈美(テアトル・ド・バレエアカデミー) ③ボーイズ・シニア②寺沼優(松岡伶子バレエアカデミー)

エ団) ①ボーイズ・ジュニア②仁地琉聖(Premier B・S) ③加藤唯至(テアトル・ド・バレエアカデミー)

▼コンテンポラリー①水速飛鳥(貞松浜田バレエ団) ②伊藤遥乃(テアトル・ド・バレエアカデミー)

▼同・グループ①テアトル・ド・バレエアカデミー ②バレエスタジオA PPLAUSE

③武田莉幸(森高子

第33回全国バレエコンクール in Nagoya (8月17〜20日・芸術創造センター)1〜3位

▼女子・小1〜4①武内麻結(バレリーナスクール) ②山田美初(森高子バレエ教室) ③窪田れいら(KUBOTA BALLET車田スタジオ)

▼女子・中学生①永井咲良(森高子バレエ教室) ②濱中ひかる(ダンススペース) ③中居末乙(バレリーナスクール)

▼女子・高校生①森川更紗(皇中三枝バレエ教室) ②大場暖々(法村友井バレエ学校) ③関岡美結莉(堀井津江バレエスクール)

▼女子・小1〜中2①

▲男子・小1〜中2①

▲男子・中3〜高3②

▲男子・シニア①小嶋萌生(S・Kバレエ) ③土屋ラルフ(Kids Dance Mバレエスタジオ)

テアトル・ド・バレエアカデミー



運びの粗さが力強さに繋がった

俳優館「裸王」

俳優館がファミリーミュージカル「裸王」R.A.O.（8月17〜20日・千種文化小劇場）を公演した。アンデルセンの「裸の王様」を、売り出し中の若手演出家・八代将弥がミュージカルとして作劇。名古屋おもてなし武将隊の初代隊長・豊俊が主役（宮谷達也とのダブルキャスト）を務めた。観劇したのは6回公演の最終回。ところがこの回は数人の出演者が体調不良で穴を空けた。森剣プロデューサーは涙面だった。それはそれ。確かに粗い舞台ではあったが、その粗さが力強さに繋がった。キャリア豊かな俳優陣が底力を発揮した、というところだ。

八代によれば「裸の王様」の舞台化は、10年越しの念願だったとか。その間、さまざまな構想が描かれ、練り上げられたと推察する。2021年公演「かもめ」で手腕を発揮した異才に期待したが、今作に限っては枝葉が多過ぎ、ウケ狙いのギャグが多過ぎた。

「テミス」の女神

人間、食べる物がないことほど、つらいことはない。終戦直後、日本国民は危機的な飢餓状態に陥った。追い詰められた

ミュージカルと称するなら、歌とダンスで魅了してほしかった。幸いだったのは、客席の多くの子どもたちが、のめり込むように舞台に見入っていたことだ。

（ウエノ）

東京地方裁判所判事の山口良忠（実在、実名）。闇流通を裁く者が闇食糧を口にしてはならぬ」と正義を貫き、ついには栄養失調で命を失うのである。戦時下の国家と国民を描いた同シリーズは2013年にスタート。10年間で10作を制作、上演してきた。今作はその

第一弾として制作された作品のリニューアル版だが、観劇の衝撃と感動は初演時を上回った。中でも主人公・良忠の臨終場面は秀逸で、一種の清々しさをもたらした。良忠役の上田定

舞台批評

意外な選曲である。ここでは名鶴ひとみの振付作品が2曲あり、客演のバレンダンサー市橋万樹、眞下方穂が花を添えた。ひとみ、文のカラーが程よくシャッフルされ、ステージは大団円を迎えた。



「裸王」のワンシーン

秀逸だった主人公の臨終シーン



「テミス」の女神（8月25、26日・東文化小劇場）

愛知県立芸大同窓会愛知支部ベルシェーナの第19回新人演奏会（8月25日・電気文化会館）で素敵なソリストに出会った。「魚とオレンジ」作詞・阪田寛夫、作曲・中田

いた。中でも小物ぶりを見せながらラストで反則技のような「変身」で魅せた二瓶翔輔の織田信雄は出色。ユーモラスな語り口で空気を操り、観客に歴史と今を思い出させる語り部・豆田も印象に残った。

文化の家は企画はもちろんな歴史考証、バックステージなど多方面で作品をサポートし、館内の展示を含め演劇を楽しめる空間作りにも尽力。忘れがたい観劇となった。（竹本）

1.あまり演奏されることのない曲が多かった。目先の出来、不出来ではなく、音楽への深い探求心が感じられる。さすがに東海地区芸術分野の最高学府で学んだミュージシャンたちである。

山口桃子が演奏した「ヴァイオリンソナタ」（第1、第3楽章）は、ドビュッシー生涯最後の曲で、従来の音楽形式を脱しようとする意欲が感じられた。マリノバ井口有彩の「タンゴロア（ギャレス・ファア作曲）」も幻想的かつジャズ的な趣があり楽しめた。（U）

メンタル性重視した文の新演出

名鶴ダンスカンパニー

テーマは「次世代へのバトンタッチ」。宝塚歌劇団出身の名鶴ひとみが主宰する「名鶴ダンスカンパニー」が第20回記念公演「Nous」（9月1日・芸術創造センター）を開催。私は昼の部を観劇した。

第二部は意外にも名鶴ひとみ、萬あきら（客演）らによるシャッソンのス



（撮影・フォトクリエイト）

への「バトンタッチ」を強く実感した。極端に言えば、シャッソンのパワフルなダンスから、ソフトでメンタルなダンスへと、ステージが様変わりしたのである。

文によれば「3年間強いられたマスク生活で遮断された人間関係に思いを巡らせた作品」が、

戦を避けるため、敵将を寝返らせるため、心理戦・舌戦を繰り返す。この劇の力を引き続き鹿目由紀が作・演出。文化の家創造スタッフの大脇ばんだ、以前スタッフを務めた藤島えり子、座☆NAGAKUTEの多嘉山秀一ら、同館の演劇史を彩った俳優陣や二宮信也、松井真人ら愛知を代表する面々も結果した。地元の木材による舞台美術の真ん中で代わる代わる語り倒す俳優たちの姿は心地よければかり。刀を使わず、自分の人間力や生き様をさらして時代の風を吹かせようとする武将たちの必死さ、泥臭さに心引かれた。

最後は誰もに好感を持ち、戦の結果を知りながらも彼らの無事を祈って

行、妻を演じた内藤美佐子の名演だった。コロスがドラマを進展させ、生演奏や舞踊を取り込んだ演出スタイルが奏功した濃厚な人間ドラマだった。先の大戦で、国民は国民を見放し、国民

魅了された原田菜摘のソプラノ

喜直）を歌ったソプラノの原田菜摘の真実だ。美しく豊かなソプラノ、恵まれた容姿に笑顔。まるで白鳥が舞うように、伸び伸びと歌う姿がいい。私は人気ヴォーカリスト、サラ・オレインを連想した。出演者は10人（ピアノ2、弦3、管2、声楽2、打

劇団シアター・ウィークエンド（松本喜臣代表）の創立50周年記念「音吉物語」（9月9、10日・愛知県芸術劇場小ホール）を見た。江戸末期、愛知県美浜町に実在した船員が漂流、過酷な運命に翻弄された実話を劇化。劇団員を中心に、ほかの劇団、舞踊団も加わり、30人ほど

が歌い、踊り、叫ぶ、熱い場面の連続だ。演技が格別じゃないわけではない。丸となって全力で演じる。その姿に、音吉が訪れた縁のある4都市で海外公演も行った。その50年の歴史の原点は、代表で演出の松本と、夫人で作家の東田麻希の二人にある。（上原宏）

長久手は武将たちの舌戦、心理戦



「どうした長久手〜九人の武将幻想伝〜」

25周年記念作品「どうした長久手〜九人の武将幻想伝〜」が同館森のホールで上演された。9月9・10日。徳川家康と豊臣秀吉軍が刃を交える「小牧・長久手の戦い」の開戦を間近に控え、一堂に会した両陣営の武将たちが、

「どうした長久手〜九人の武将幻想伝〜」

Advertisement for a concert featuring Fujishiki Saki and Nakamura Kiyomi. Includes program details, ticket prices, and contact information for Hitomi Hall.

私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6,600円（税込）。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面にお名前を掲載（希望者のみ）。会員

お問い合わせ先、お申し込み、お支払い、お振替口座、郵便振替口座、電話番号、住所、Eメール、お名前、お電話番号、お住所、Eメール、お名前、お電話番号、お住所、Eメール

間奏曲

50年の歴史支えた松本喜臣夫妻

が歌い、踊り、叫ぶ、熱い場面の連続だ。演技が格別じゃないわけではない。丸となって全力で演じる。その姿に、音吉が訪れた縁のある4都市で海外公演も行った。その50年の歴史の原点は、代表で演出の松本と、夫人で作家の東田麻希の二人にある。（上原宏）

名古屋ダブルリードアンサンブル
サマーコンサート2023
この公演は2023年7月6日「米」の南特公演となります。
2023年11月11日(水) 6:45pm開演 (8:00pm開演)
電気文化会館 サココンサートホール

バロックソナタの夕
「ハザルディ」珠玉の協奏曲
2023年11月3日(日) 18:30開演
電気文化会館 サココンサートホール

山口鈴子 米寿記念
ソプラノリサイタル
2023年11月4日(月) 18:00開演
電気文化会館 サココンサートホール

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き

声楽・鈴木健司迎え新たな一歩
石川馨菜子(ピアノ)
イタル(8月26日・電気文化会館)は、バスバリトン鈴木健司をゲストに迎える珍しいパターン。昨年デビュー20周年、20回目のリサイタルの大きな節目を超え、新たな一歩を踏み出す意図だ。前半は生誕150年のラフマニノフ、後半はラヴェル。ラフマニノフ「幻想的小品集」は、ロマンチックな「エレジー」「メロデー」で美しい旋律を奏で、「前奏曲」「道化師」では躍動感に満ちた表現を見た。

関西フルハーモニー管弦楽団
東海市特別演奏会
音楽で街を元気に!
2023年11月8日(水) 18:30開演
東海市芸術劇場 大ホール

田中彩子
「天啓の歌声」と称される
管弦交響コロラトゥーラが
美しく軽やかに響きわたる。
2023年11月12日(日) 18:00開演
三井住友海上しらかわホール

池田真由子
ピアノリサイタル
ベートーヴェン最後の5つのソナタ
MAYUKO IKEDA
PIANO RECITAL
2023年11月12日(日) 14:00開演
電気文化会館 サココンサートホール



鈴木健司と石川馨菜子



吉田志門と碓大知

最後のラヴェル「ラ・ヴァルス」では、ダイナミックで厚みのある音を響かせた。全般的に音の幅が広がった印象を受け、一番好きな人々に心を込めて…
吉田はベルリン在住。しほりに聴いた(8月17日・電気文化会館)。「いちばん好きなのは」に「いちばん好きなのは」がタイトル。木下牧

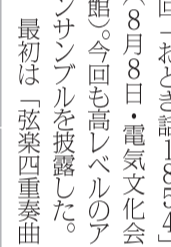
子作曲の歌曲を中心に、フォーレを交えたプログラム。木下の多くの歌曲集から集めた。「竹とんぼ」に「さびしいカシの木」など、いくつかは聴いたことがあるが、これほど多くを一度に聴いたのは初めて。
吉田はベルリン在住。無理のない発声、明瞭な日本語の発音で、端正な歌いぶり。なかでも、やなせたかし作「愛する歌」の3曲は印象的。最後の「いちばん好きなのは」は、立原道造、谷川俊太郎ら5人の詩による5曲で、気持ちこもっていた。碓のピアノは、優しく情

Yuki Takano
竹野有紀
ピアノリサイタル
2023年11月15日(木) 18:00開演
電気文化会館 サココンサートホール

伊藤香紀
ピアノリサイタル
Ito Kana
Piano Recital
2023年11月18日(日) 18:00開演
しらかわホール

宮田大&田村響
デュオ・リサイタル
2023年11月19日(月) 15:00開演
三井住友海上しらかわホール

緒豊か。ソロでフォーレ「無言歌集」の3曲を美しい音で聴かせた。
高レベルのアンサンブルで魅了
レーベインムジック
レーベインムジックのシューマン室内楽、第4回「おとぎ話1854」(8月8日・電気文化会館)今回も高レベルのアンサンブルを披露した。最初は「弦楽四重奏曲



レーベインムジック

日置ひと美
ピアノリサイタル
2023年11月22日(日) 12:10開演
名古屋公演 東宮公演

KRISTIAN ZIMMERMANN
クリスチャン・ツィメルマン
ピアノリサイタル
2023年11月30日(日) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

古澤 巖
クリスマス
2023年12月17日(日) 12:30開演
三井住友海上しらかわホール

「おとぎ話」ではクラリネット高間健悟、ヴィオラ小坂井聖仁、ピアノ桑野郁子が、巧みな掛け合いで4つの物語を表現した。
シューマンの対照的な2曲で、二面性を表現した後は、ブラームスの傑作「ピアノ五重奏曲」。ピアノ桑野郁子、ヴァイオリン春日井、ビルマン良弓光(まゆみ)、ヴィオラ柿本朱美、チェロ高木俊彰が、何度も聴いた中でもトップクラスの演奏で魅了した。

トリオ・コンサート
土野耕平(サクソフォン) 三浦一馬(バンドネオン) 山中惇史(ピアノ)
2023年11月11日(日) 17:00開演
安城市民会館サルビアホール

ベルリン・フィルハーモニー
管弦楽団 来日公演
指揮 キリル・ペトレンコ
2023年11月16日(木) 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

OZONE MAKOTO
尾高忠明 小曾根真
2023年11月21日(水) 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

アイ・チケット 0570-00-5310
クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット web 検索

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のこまごまオペレーターが丁寧に対応いたします。